

コロナ禍への適切な対応により、 市民生活の安全・安心を市当局に求める

私たち「こうべ市民連合議員団」は、コロナ禍の現状を踏まえ、多くの市民の皆様から寄せられたお声を聞かせていただきながら、久元市長ならびに関係当局に対して要望をしてきました。特に、緊急事態宣言解除後の中期的な対策として、コロナ感染の第2波を起こさせない取り組みや、Withコロナ時代に適応するよう市民生活の実態に即した対応策として、以下の施策を要望しました。



要望 ①危機管理体制について

災害時における避難所のあり方については、マスク、消毒液等の備蓄を確保する等避難所におけるウイルス対策を講じること



要望 ②医療産業都市神戸として

スーパーコンピューター富岳の活用や医療産業クラスターを活用して、コロナウイルス収束に向けた研究と広報に努めること
神戸市民病院機構で働く看護師や看護補助者をはじめとした医療従事者を増強すること



要望 ③市民サービスの向上について

コロナ感染症対策を講じながら、生活が激変した市民の相談等に対応出来る職員体制と人員配置を図り、市民サービスを向上させること



要望 ④教育環境の整備について

学校再開時における児童生徒のケアを行う退職教職員等の人材を活用すること
夏休み期間の短縮を想定し、熱中症対策として理科室・家庭科室等の特別教室や 給食調理室へエアコンを早急に設置すること
児童生徒へ一人1台のタブレット端末を貸与する等、ICT 学習環境の整備を早急にすすめること

これら要望を受け、6月議会では神戸市新型コロナウイルス感染症対策緊急補正予算〔第2弾〕として、

今後は、コロナ禍への適切な対応として、

- ◆医療体制のさらなる強化
 - ◆PCR検査体制の強化
 - ◆学校現場におけるICT環境の推進
- など対策の強化を求め、市民生活の安全・安心を築くべく市当局へ申し入れていきます。

皆さま気を付けて
お過ごしください かし幸夫



新型コロナウイルス感染症情報&神戸市熱中症対策
については、神戸市ホームページの情報もご参考に！



次代に責任!
~愛されるまち神戸を「西区」から~

神戸市議員

西区

Vol.3 2020

市会報告

事務所:神戸市西区王塚台7丁目105-2
TEL&FAX 078(924)0151
E-mail
kajiyukio2019@gmail.com



編集・発行/こうべ市民連合議員団 〒650-8570神戸市中央区加納町6-5-1 TEL 078(388)5844 FAX 078(322)6161

今年度の所属委員会

経済港湾委員会 委員

経済観光局、港湾局、文化スポーツ局の所管事項についてチェックします。

未来都市創造に関する特別委員会 委員

三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生、潤いある都市空間の整備や新たな交通手段を含む総合交通体系の整備など、新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な調査を行います。

神戸市上下水道事業審議会 参与

神戸市水道事業および下水道事業に関する重要事項について、調査・審議を行います。

令和2年第1回定例市会(2月18日~6月26日)

本会議にて一般質問を行いました〔2020年6月26日〕

新型コロナウイルス感染症の影響や現状を考慮しつつ、経済施策や子どもたちへの支援について、また西区役所玉津庁舎に関して、以下4点の質問・提案を行いました。

1. ウォーターフロントにおける夜型観光の誘致について

Q かし 我が会派では、宿泊を伴う夜型観光施策として「神戸夜市」の実施をこれまで訴えてきました。新型コロナウイルス感染症の第2波の影響や社会経済活動の進捗状況、観光を伴う人の移動など不透明な部分もありますが、今後のwithコロナ時代を踏まえつつ、屋外かつ夜型観光イベントの誘致、そして開催に至ることができれば、市内の事業者の支援に加え、神戸の夜のにぎわいも生み出すことができると考えますがいかがでしょうか。



A 久元市長 以前からウォーターフロントエリアにおいて夜市を開催することについて指摘をいただけてきました。ぜひ前向きに考えるべきではないかと考えており、民間事業者主体の夜型イベントとして検討してきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で開催には至っていませんが、ぜひこのウォーターフロントエリアで夜市を開催したいというふうと考えており、新型コロナウイルスの終息の状況を注視しながら、まずは期間限定で開催ができないか検討してまいります。

かし要望

候補地については、メリケンパーク、みなとのもり公園、しおさい公園などを考えています。またファーマーズマーケットなど神戸の農業を知っていただく機会や、市が支援しているキッチンカーも一堂に集約すればと思います。くれぐれも感染予防や第2波、第3波など十分意識をしていただきながら、この夜型観光の誘致を民間事業者と一緒に進めていってほしいと要望しておきます。